５　各事業の取り組み

※事業費は平成 28 年度に市が支出した額。

国内外都市間交流促進事業

■事業概要・目的
本市と姉妹都市提携（友好協定含む）をしている、若しくは交流が深い国内外の市区町村と、教育・文化・産業等における交流を通じて、相互の理解を深め、発展を目指すことを目的とした事業に対して、経費の一部を補助するもの。
■開 催 日　平成 28 年４月１日～平成 29 年３月 31 日
■会　　場　－
■補助団体　３
■事 業 費　500,000 円
■実施内容
○いわき市岩城会
補助額：100,000 円
市制施行 50 周年及び親子都市締結 30 周年を記念して、秋田県由利本荘市岩城町で開催された旧藩祭に参加し、交歓会等での交流を通じ、岩城公をご縁として盟約を交わした親子都市由利本荘市との今後の更なる交流の深化を図った。
○いわき奉仕団
補助額：100,000 円
磐城平藩、日向延岡藩などを治めていた内藤公の歴代藩主の墓所がある光明寺を参拝し、関東在住の内藤家や延岡ゆかりの関係者と一緒に、御霊を供養することで、内藤家をご縁として盟約を交わした兄弟都市延岡市との今後の更なる交流の深化を図った。
○いわき市-タウンズビル市民間姉妹都市委員会
補助額：300,000 円
国際姉妹都市締結 25 周年及びタウンズビル 150 周年の節目の年に、「タウンズビル親善交流の旅」を企画し、市民レベルの交流や意見交換を行ったことで、相互の地域文化の理解と交流を深めた。

■事業の成果・今後の施策等への反映
各都市の交流は、歴史的・地域的背景のもと、民間レベルの活動から始まったものですが、近年は、民間団体は会員の高齢化とともに人数減となり、行政主体となっている状況にあります。
まちづくりを進めていく上でも市民主体の交流が不可欠であることから、こうした事業を活用し、民間団体の更なる育成に努めて参ります。

旧藩祭

鎌倉光明寺参拝

第 12 回いわきアリオス落語会　柳家小三治独演会

■事業概要・目的
お笑い、話芸のジャンルを提供するアリオス主催のプログラムとして 12 回目となる「いわきアリオス落語会」の特別版として、落語界で唯一、国指定重要無形文化財（人間国宝）の指定を受けている柳家小三治氏による独演会を開催するもの。
■開 催 日　平成 28 年４月６日
■会　　場　いわき芸術文化交流館中劇場
■参加人数　512 人
■事 業 費　3,458,005 円
■実施内容
【演目】
柳家一琴「初天神」
柳家小三治「お化け屋敷」
中入り
柳家小三治「転宅」

■事業の成果・今後の施策等への反映
柳家小三治氏は、現在の落語会において唯一の人間国宝であり、アリオスの来場者アンケートでも最も名の上がる落語家です。
その落語家の話芸を市民の皆様に鑑賞いただける機会を設けることができ、記念事業としてふさわしい内容となりました。
お笑い、話芸は、アンケートにおいても観たい公演として多くの方があげているジャンルであり、今後も、話芸の鑑賞機会を提供し、幅広い世代の方に楽しんでいただけるよう事業を展開して参ります。

撮影：鈴木稜蔵

撮影：鈴木稜蔵

女性を描く～クールベ、ルノワールからマティスまで～展

■事業概要・目的

次世代を担う子ども達や若者を含め、多くの市民に対して優れた美術作品の鑑賞の機会を提供し、市民の文化・芸術に対する知識及び教養の向上に資するとともに、豊かな想像力を育むことを目的に、19 世紀後半から 20 世紀前半にかけてフランスで活躍した画家たちの作品を紹介する企画展を開催するもの。

■開 催 日　平成 28 年 4 月 16 日～5 月 29 日
■会　　場　いわき市立美術館　2 階企画展示室
■参加人数　7,348 人
■事 業 費　19,046,105 円
■実施内容

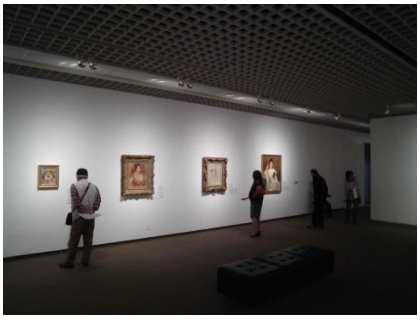
印象派のルノワールや 20 世紀最大の色彩画家マティスを含む、19 世紀後半から 20 世紀前半にかけてフランスで活躍した画家たちによる、女性を描いた作品 61 点を展示。

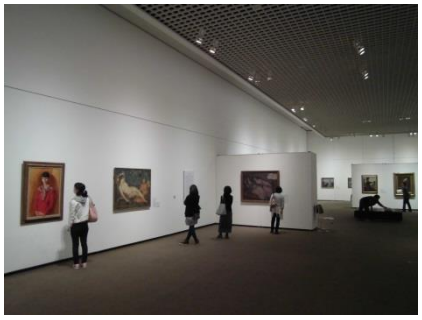
■事業の成果・今後の施策等への反映

来館者アンケートの結果によれば、「とても良い」と「良い」を合わせた評価が 92%となっており、また、「すばらしかった」、「見応えがあった」、「たくさんの貴重な作品をいわきで見ることができてうれしかった」などの好意的な感想が多数寄せられるなど、来館者の満足度の高い展覧会となりました。

また、中学生からは「授業にいかせる描き方を学べた」などの感想も寄せられ、次世代を担う子ども達にも好評であったことがうかがえ、事業目的に沿った成果を出すことができたと考えます。

今回の事業運営で学んだこと等を今後の事業に反映させ、引き続き、多くの市民に対して優れた美術作品の鑑賞の機会を提供し、市民の皆様の文化・芸術に対する知識・教養の向上や、豊かな想像力を育む取り組みを続けて参ります。





鉄道イベント開催事業

■事業概要・目的

市制施行 50 周年を記念するとともに、市民に、鉄道に親しみと愛着を持ってもらい、鉄道交通の利用促進に繋げることを目的に、いわき親子鉄道フェスタ 2016 の開催やアフターＤＣ等で運行される企画列車との連携事業等を実施するもの。

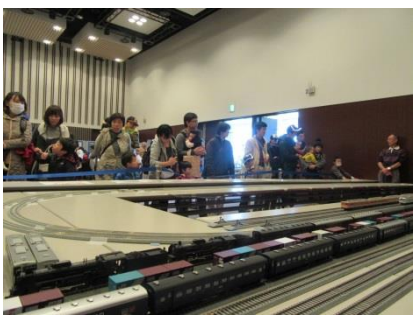
■開 催 日　平成 28 年 4 月～平成 28 年 12 月
■会　　場　ＪＲ湯本駅、ＪＲいわき駅　他
■参加人数　約 1,600 人
■事 業 費　766,000 円
■実施内容

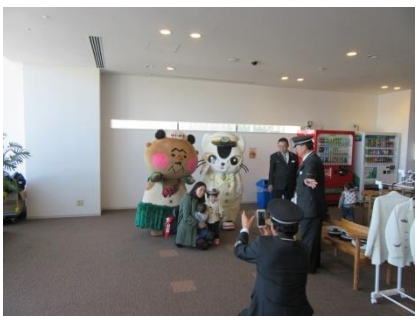
○「湯本地区・駅からハイキングコースウォークラリー」
・開催日　5 月 28 日（ＪＲ湯本駅周辺）
○アフターＤＣ企画列車「磐越東線新緑号」お出迎え（記念品等の配布）
・開催日　5 月 21 日～22 日（ＪＲいわき駅）
○いわき親子鉄道フェスタ 2016
・開催日　11 月 26 日（ＪＲいわき駅）
○子供ＥＣＯ鉄道教室
・開催日　12 月 27 日（ＪＲ湯本駅）

■事業の成果・今後の施策等への反映

いわき親子鉄道フェスタ 2016 については、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社との連携事業として実施した結果、昨年の 800 人を上回る約 1,500 人の参加に繋がるなど、市民に、鉄道に親しみと愛着を持ってもらい、鉄道交通の利用促進に繋がる効果的な事業が展開できたと考えます。

本事業の実績を踏まえ、引き続き、東日本旅客鉄道株式会社と連携した事業を実施して参ります。





いわき親子鉄道フェスタ 2016（３枚とも）

いわき市民文化（春）祭

■事業概要・目的

多くの市民が様々な文化に触れる機会を創出し、改めて市の文化への興味、関心を深める機会を創出するため、「いわき文化春祭り」の特別行事として、本市と縁のある音楽家や市内外の優れた芸能活動団体等による特別公演を開催するもの。

■開 催 日　平成 28 年 5 月 21 日～22 日
■会　　場　いわき市芸術文化交流館、平中央公園
■参加人数　約 1,300 人（出演関係者）
■事 業 費　200,000 円
■実施内容

「文化でつなぐ市民の和」をスローガンに、様々なジャンルの市内 126 の文化団体、1,300 人の参加のもと「いわき文化春祭り」として芸能発表、作品展示、出店などを開催。

その中で、市制施行 50 周年記念行事として、本県出身の民謡歌手・原田直之氏や本市出身のオペラ歌手・鈴木葉子氏らによる特別公演、韓国で活躍する作家・金東成氏による書画の特別展示を実施。

○原田直之特別公演
　民謡の部、舞踊の部（地元舞踊会との競演）、歌謡曲の部
○鈴木葉子特別公演
　歌劇「夕鶴」ハイライト
　つう：鈴木葉子、フルート：大和田葉子（本市出身）、
　ピアノ：津山博子
○金東成特別展示
　書画ワークショップ、書画展示

■事業の成果・今後の施策等への反映

いわきの文化の更なる飛躍と継承、次世代を担う若者の育成をテーマに、文化を幅広く多面的に捉えた催しとなり、延べ 14,000 人の市民にお楽しみいただきました。

市と縁のある芸能関係者や、市内外の優れた芸能活動団体等を招へいし、また、これまでの文化活動の成果を披露する機会を活用することで、さらに多くの市民が様々な文化に触れる機会となり、改めて市の文化への興味や関心を深めることにつながり、今後の文化振興にも寄与するものとなりました。

第 28 回ふくしま緑の百景歩こう会

■事業概要・目的

市内外からの参加者に、緑の豊かさをはじめとしたいわきの様々な良さを感じていただくとともに、着実に復興しているいわきの姿を発信するため、ふくしま緑の百景の 1 つである国宝白水阿弥陀堂周辺を周遊コースとしたウォーキング大会を開催するもの。

■開 催 日　平成 28 年 5 月 29 日
■会　　場　天上田公園（内郷御厩町地内）
■参加人数　約 1,100 人
■事 業 費　3,661,000 円
■実施内容

1　アトラクション
　⑴　よさこい（いわき徳姫よさこい倶楽部）
　⑵　フラダンス（いわき総合高等学校フラダンスチーム）
2　開会式
　⑴　開会の言葉
　⑵　主催者あいさつ
　⑶　来賓祝辞
　⑷　来賓紹介
　⑸　緑の募金贈呈
　⑹　ビッグプレゼント抽選
　⑺　準備運動
　⑻　コース説明及び諸注意
　⑼　テープカット・スタート
3　ウォーキング大会
・10km コース
・12km コース

■事業の成果・今後の施策等への反映

市内はもとより市外からも多くの方々に御参加いただき、いわきの魅力の一つである緑の豊かさに触れていただく機会になったとともに、市としても本市の魅力と着実な復興を PR することができました。

市民プレゼン大会「いわき‘夢プラン’コンテスト」

■事業概要・目的

市の将来像やその実現に向けた取り組み等について思いを巡らせ、提案していただくことを通して、市民がふるさといわきに誇りを持ち、愛する心を高める機会を創出するため開催するもの。

■開 催 日　平成 28 年 7 月 16 日
■会　　場　いわき市文化センター大ホール
■参加人数　プレゼン大会出場者 12 組、来場者約 250 人
■事 業 費　750,635 円
■実施内容

○プレゼンのテーマ　「明るく元気ないわき市の実現に向けて」
○募集区分
　高校生以下の部、一般の部、企業・団体の部
○プレゼン大会出場者
　一次審査（書類）を通過した 12 組（各部門 4 組）
○応募総数　54 組
○大会結果（最優秀賞）
・高校生以下の部
　湯本第一中学校 3 年
　修学旅行実行委員会プレゼンテーション班
「サン愛にあふれるまち『いわき』～ふれ愛･支え愛･伝え愛～」
・一般の部
　紺野　博史
「“いわき”をヨット先進都市へ」
・企業・団体の部
　福島工業高等専門学校
　ビジネスコミュニケーション学専攻科
「いわき、２度目のハワイ化計画」

■事業の成果・今後の施策等への反映

応募提案は、いずれも市の特徴や将来の可能性を捉えたユニークなものであり、かつ幅広い年代からの応募があったことから、本大会が応募者を含む多くの市民にとって、市の将来像やまちづくりについて考える契機となり、この経験が、今後のまちづくりに対する参加意識の向上に繋がるものと思います。

市民プレゼン大会は、市民の意見を市政に反映するための手法の一つとして有効であることが確認できたことは大きな成果であり、今後、共創のまちづくりを推進するうえで、本事業で得た経験の活用を検討して参ります。

おどれ！いわきの traditional culture と共に！

■事業概要・目的

市を代表する夏祭りである「いわきおどり」に市外の方にも参加していただくことを通して、市制施行 50 周年となる本市の伝統文化の魅力や震災前にも増して活力に満ち溢れたまちを目指す市の姿を発信することを目的に、市内外から参加者を募集した特別なツアーを実施するもの。

■開 催 日　平成 28 年８月７日～８日
■会　　場　いわき駅前大通り他
■参加人数　26 人
■事 業 費　785,430 円
■実施内容

市外参加者９名・市内参加者 17 名により、下記の行程でツアーを実施。

８月７日　いわき駅前集合⇒平七夕祭り散策⇒
　　うちわ制作・おどりの練習
８月８日　アクアマリンふくしま⇒いわきら・ら・ミュウ⇒
　　いわきおどり参加⇒さはこの湯

■事業の成果・今後の施策等への反映

市外参加者が地元高校生と交流しながら、いわきおどりに参加するなど、市の伝統文化に触れることができるツアーとして、これまでの観光ツアーにはなかった新鮮な試みであり、新たないわきの魅力を発信することができたと感じます。

また、事業の計画からツアーの準備・実施まで、長期にわたる湯本高校生の尽力により、参加者が楽しみながら交流を図り、市外参加者にいわきを知ってもらえる貴重な機会となりました。

本事業の実績を生かして、今後も「明るく元気ないわき市」を発信する機会を創出していきたいと思います。

地域を学び未来につなぐ生涯学習推進事業

■事業概要・目的

市制施行 50 周年を機に、市民の絆や郷土に対する愛着をより深めるため、「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」や「市民講座（公民館事業）」、「生涯学習フェスティバル」において、いわきの歴史を振り返る講座や写真展示等の企画を実施するもの。

■開 催 日　平成 28 年５月～平成 29 年１月

■会　　場　いわき市生涯学習プラザ、市立公民館　他

■参加人数　約 4,000 人（講座受講者及びフェスティバル参加者）

■事 業 費　34,467,216 円

■実施内容

○いわきヒューマンカレッジ（平成 28 年 8 月 27 日～12 月 3 日）
　４学部の講座を開講し、特にいわき学部において、いわきの歴史を振り返る内容の講座を実施。

○市民講座（平成 28 年 5 月 18 日～平成 29 年 1 月 25 日）
　本市の合併からの歴史や各地域の歴史を学び、まちづくりについて考える講座等を実施。

○生涯学習フェスティバル（平成 29 年 1 月 28 日～29 日）
　まちの歴史や街並み等を振り返る機会を提供するため、企画展示（写真でたどる本町通り）や記念講演（平市街における「水」の記憶）を実施。

■事業の成果・今後の施策等への反映

いわきヒューマンカレッジや市民講座、生涯学習フェスティバルは、生涯学習を推進する場として大きな役割を担っている事業であり、市制施行 50 周年に因んだ取り組みを通じて、市民の皆様がいわきを振り返る機会になったとともに、更なる生涯学習意欲の向上にも繋がったものと思います。

いわきヒューマンカレッジ（学長講演）

いわきヒューマンカレッジ（講義）

生涯学習フェスティバル（企画展示）

いわき市＋タウンズビル市国際姉妹都市締結 25 周年記念事業「ハムレット」

■事業概要・目的

市とオーストラリア・タウンズビル市との国際姉妹都市締結 25 周年と、本市の市制施行 50 周年を記念し、文化・芸術交流事業として、タウンズビル市のプロの劇団による「ハムレット」の公演を行うもの。

■開 催 日　平成 28 年 10 月８日～９日

■会　　場　いわき芸術文化交流館中劇場

■参加人数　405 人

■事 業 費　7,985,129 円

■実施内容

劇団 Theatre iNQ（シアターインク）公演

公演は、日本語字幕付きで英語により上演され、高校生３名が共演。

10 月８日

高校生交流公演（観覧者：12 校、122 名）

10 月９日

一般有料公演（観覧者：283 名）

※高校生以下は観覧無料

この他、関連事業として、10 月５日～６日に高校生演劇部参加による演劇ワークショップを実施し、シアターインクの劇団員との交流を図った。（５日：４校 32 名、６日：３校 22 名）

■事業の成果・今後の施策等への反映

今回の公演では、質の高い演劇作品を市民へ提供することで、本市の演劇文化の醸成に寄与することができました。

また、10 月８日の高校生を招待して実施した交流公演では、演劇公演後、劇団員と高校生のアフタートークを実施し、交流を深めるなど、演劇を通じたタウンズビル市との更なる交流を図ることができました。

今後も、タウンズビル市と本市の若い世代の更なる交流につながるような事業展開を検討して参ります。

撮影：田子和司

撮影：田子和司

中核市サミット 2016in いわき

■事業概要・目的
　中核市市長が一堂に会し、人口減少の克服と地域活性化の諸施策について議論を深め、誰もが活躍できる社会の実現を図ることを目指す「中核市サミット」を開催するもの。
■開 催 日　平成 28 年 10 月 27 日
■会　　場　ホテルハワイアンズ
■参加人数　約 400 人
■事 業 費　6,007,076 円
■実施内容
　1　開会式
　2　基調講演（東京大学名誉教授　神野　直彦氏）
　3　分科会
　　「まち・ひと・しごと」の活性化に向け、３つの分科会を開催
　　【第１分科会】
　　テーマ　「地域住民を主体とした防災活動について」
　　【第２分科会】
　　テーマ　「女性活躍の推進について」
　　【第３分科会】
　　テーマ　「地域振興に貢献する観光産業について」
　4　全体会議（サミット宣言採択）・閉会式

■事業の成果・今後の施策等への反映
　分科会での議論をもとに「中核市サミットいわき宣言」を採択し、地域の核となる中核市から人口減少・少子高齢化を克服し、誰もが活躍できる社会の実現に向け連携協力していくことを宣言しました。
　また、中核市市長会が連携して、風評被害を払拭するため、被災地の正しい情報の発信・ＰＲに努めることや、国への働きかけを行うことを盛り込んだ「福島第一原子力発電所事故の風評被害の払拭に向けた中核市市長会宣言」が採択されました。

第６回ＮＨＫ交響楽団いわき定期演奏会

■事業概要・目的
　市民がいわき市に愛着と誇りを持つとともに、市内の演奏家や交響楽団などの芸術創造活動の励みとし、また、市をアピールすることを目的に、ＮＨＫ交響楽団による定期演奏会を記念事業として開催するもの。
■開 催 日　平成 29 年２月５日
■会　　場　いわき芸術文化交流館大ホール
■参加人数　1,054 人
■事 業 費　15,964,964 円
■実施内容
　○曲目
　　・交響詩「はげ山の一夜」　・組曲「仮面舞踏会」
　　・幻想序曲「ロメオとジュリエット」　・序曲「1812 年」作品 49
　○出演
　　指揮：ウラディーミル・フェドセーエフ
　　管弦楽：ＮＨＫ交響楽団
　　合唱（男声）：東京混声合唱団
　　児童合唱：いわき市立高坂小学校合唱部、
　　　いわき市立平第三小学校合唱部

■事業の成果・今後の施策等への反映
　本公演は、オーケストラの性能を最大限に生かした大規模な演目を鑑賞できる貴重な機会であり、本市の文化振興に果たす役割は大きく、芸術文化を通じた心の復興にも大きく寄与したものと考えています。
　さらに、今回の公演では、世界的指揮者並びにＮＨＫ交響楽団と市内の小学校合唱部２校が共演し、子ども達にとっては貴重な経験と記憶に残るものと思います。
　今後も、ＮＨＫ交響楽団による定期演奏会等、高度な演奏を市民の皆様に届けることを通じて、芸術・文化活動の発展に貢献して参ります。

第８回いわきサンシャインマラソン

■事業概要・目的

競技・生涯スポーツの振興をはじめ、交流人口の拡大や地域の活性化を目的に、市を挙げて開催する「いわきサンシャインマラソン」を、本市の更なる飛躍・発展に向かい躍動する契機とする思いを込め、大会の名称に市制施行 50 周年記念事業を冠し、大会に関わる全ての方々の記憶に残る大会として開催するもの。

■開 催 日　平成 29 年２月 12 日
■会　　場　いわき陸上競技場～小名浜港アクアマリンパーク（フルマラソン）
■参加人数　9,313 人（出場者数）
■事 業 費　15,000,000 円
■実施内容

【種目】

・フルマラソン（42.195 km）　　出走者　5,971 人
・10 km　　出走者　1,358 人
・５km　　出走者　636 人
・２km　　出走者　614 人
・２km 親子　　出走者　734 人

■事業の成果・今後の施策等への反映

晴天のもとで開催することができ、過去最多となる 9,313 人のランナーと、2,000 人を超えるボランティアスタッフ、沿道から応援してくださった方々が交流を深め、ランネット（参加ランナーが書き込みなどを行うサイト）評価で 93.8 点（平成 29 年２月 23 日現在）をいただくなど、市制施行 50 周年に相応しい満足度の高い大会になったものと思います。

今後さらに、参加される皆様がスムーズに大会へ臨める体制を整えながら、充実したおもてなしを展開し、大会の発展に繋げて参ります。

体育協会創立 70 周年記念事業

■事業概要・目的

市と共に設立 50 年を迎えた「いわき市体育協会」が、その前身である「磐城スポーツ連盟」の創設から 70 周年を迎えるに当たり、現在に至るまでの感謝の意と更なる発展への決意を表するため、記念講演会や記念式典等を開催するもの。

■開 催 日　平成 29 年３月 12 日
■会　　場　いわきワシントンホテル椿山荘
■参加人数　約 200 人
■事 業 費　1,000,000 円
■実施内容

○平成 28 年いわき市体育協会スポーツ功労等表彰式
　平成 28 年中に本市スポーツ界において優れた成績または功績等を収めた方を表彰（受賞者：27 名・5 団体）。

○いわき市体育協会創立 70 周年記念講演会
　バルセロナオリンピック競泳金メダリストの岩崎恭子氏を講師に招き、市内スポーツ関係者に対し、オリンピックでの経験談を交えた講演会を実施。

○いわき市体育協会創立 70 周年記念式典・祝賀会
　協会創立 70 周年を記念し、現在に至るまで本協会に顕著な功績等を収めた方を表彰（受賞者：16 名）。

■事業の成果・今後の施策等への反映

これまで、本市のスポーツの振興や市民の健康増進に貢献してきた多くの関係者や来賓の方々に御参加いただいた中で事業を開催することができ、市及び協会の新たな船出を祝うに相応しい催しとなりました。